

今年も岩手県陸前高田市へ 桜ライン311の活動（復興支援）

＜支えるチカラ＞

「桜ライン 311 上田 久保田由夫さま」

今回は長野県上田市からご参加いただいている「桜ライン311上田」の皆さまをご紹介します。

チーム名からも当団体への愛が伝わってきますね(^_^)

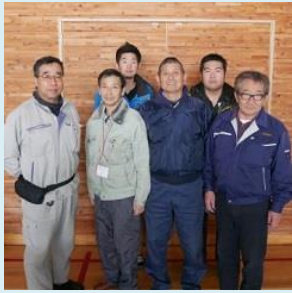
代表の久保田由夫さま(写真:手前左から2番目)は以前、仕事で陸前高田に訪れたご縁から知人も多く、震災直後よりボランティアに通い続けてくださっています。こうして継続しているのは2011年に戸羽市長から言われた「今は注目されているかもしれないが、数年先もどうか忘れずにいてほしい」という言葉が原動力になっているのだとか。

桜ライン311の活動も今まで植えた桜が確認でき、将来に実を結ぶプロジェクト内容が気に入って毎年ご参加くださっているとのことで、本当にありがとうございます！

先日の台風で上田市も大きな被害がでてしまい心配しておりました。当団体理事の小川が製作した防災映画「いつか君の花明かりには」の上映会が上田市でも8月に開催されたばかりで「この映画を見て備えることができた住民も多いのではないか」という言葉に、震災を伝えることの責務を感じます。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、上田と陸前高田が今後も繋がっていきますように。

伊勢友紀



桜ライン 311 Letter vol 81 2019.11 で紹介されました。

11月15日～17日にかけて、東日本大震災で大きな災害にあった岩手県陸前高田市の復興事業「桜ライン311」プロジェクトに6人で参加してきました。※当日はインタビューを受けて、左のようなステキな記事となって紹介されました。

【左の写真:左から玉川さん(坂城町議)、私(久保田)、畠中さん、吉沢さん、金子さん、渡辺さん(上田市議)です。

上田市から支援物資(おコメ150kg、りんご10kg(あさつゆ提供、椀子ワイン2本)をもって関係者に届けました。作業当日は、12人のチームの責任者を任せられ傾斜地の現場で作業し、無事終了しました。写真は、左上から仮設住宅の方への支援、りんごを岡本代表へ。傾斜地での植樹作業、東日本大震災津波伝承館にて。



フォト通信



左上から、日帰り旅行・寺泊にて、丸子ファーストビルでの丸子中学校生徒によるつゆくさ秋市、中央の上から市立公文書館での研修、長瀬市民センターで行われた3つの消防団合同の火災想定訓練、東京で行われた東京丸子会総会・懇親会、右上から市立美術館で開催中の農民美術・児童自由画100年展、鹿教湯温泉での上田未来会議、依田川堤防の紅葉した桜並木